

甲斐の うまい水だより

甲斐市上水道課 ● 甲斐市篠原2534番地1
電話 ● 055 (276) 0734 FAX ● 055 (276) 2177

No.

27

2020.12

水道管に 冬支度を

寒くなると、水道管が凍結し、水が出なくなったり、水道管が破裂したりすることがあります。宅内の水道管はお客様個人の所有物であるため、破損してしまうとお客様自身が修理費用を負担しなければなりません。また、水道管が破裂すると、水が出なくなり不便が生じます。水道管にも冬仕度をして凍結事故を防ぎましょう。

こんな時には凍結注意

- 外気温がマイナス4度以下になるとき。
- 旅行などで家を留守にするなど、長期間水道を使用しないとき。
- 一日中、外気温が氷点下の「真冬日」が続くとき。

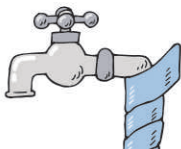
水道管の凍結を防ぐには

水を出しておく

- 翌朝、特に冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さくらいに水を出しておく有効です。

保温する

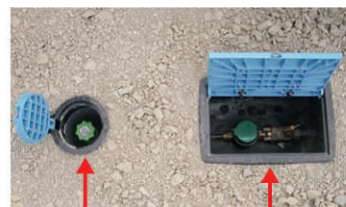
- 身近にある布切れや毛布などで、水道管や蛇口の部分が濡れないように保温してください。
- メーターボックス内にあるメーターの上下左右が濡れないように、ビニール袋などに入れた保温材で保温してください。



水抜きをする

- 寝る前や家を留守にする場合、不凍栓（水抜栓）による水道管内の水抜きを行うと効果的です。不凍栓はメーターボックス付近に設置されています。ご家庭によっては、外水道に不凍栓バルブがついている場合もあります。外水道の水抜きだけであれば、そちらをお使いください。バルブを右いっぱい回し、蛇口を開けると、管内の水が抜けますので、水が出なくなった

ら蛇口を閉めてください。水抜きした蛇口を使用する際は、不凍栓バルブを左いっぱい回してから使用してください。通水後、最初に水を出す際は、水が勢い良く出ますので、蛇口は少しずつ回して出してくださいようお願いいたします（不凍栓バルブは、開・閉とも止まるまで回さないと漏水する恐れがあります）。



不凍栓(左)とメーターボックス(右)

凍結して水が出ない時は

- 凍った部分にタオルや布をかぶせ、その上からぬるま湯をゆつくりかけて溶かしましょう。凍った部分に直接熱湯をかけたりすると、ひび割れや破裂することがあります。



破裂してしまった時は

- 水道管や蛇口が破裂した時は、不凍栓を閉めて、破裂箇所にかかテープをしっかりと巻きつけ応急手当てをした後、平日（昼間）は最寄りの市指定給水装置工事業者（[甲斐市ウェブサイトに一覧表掲載](#)）に、土日祝日・夜間は甲斐市役所（当直）（TEL055-276-2111）にお問い合わせください。

貯水槽水道の適正管理を

貯水槽水道とは、建物などで使用する水道水を一度受水槽などに貯めてから、各家庭や事務所などに給水する水道設備のことで、法令等に基づき、適正な管理が求められます。受水槽を設置しているビルやマンションの所有者は、受水槽の適切な維持管理をお願いします。



令和元年度事業報告

令和元年度の主な事業

老朽管の更新工事（約2.1km）・基幹管路の耐震化工事（66m）や、配水場等のポンプ更新工事を行いました。水道管の多くが、高度経済成長期に作られたものであるため、老朽管の更新工事は今後ますます増えていくことになります。水道事務所では、これらに充てる財源を、限られた収益の中で賄っていかなければならない状況です。

給水状況

	令和元年度	平成30年度	比較
給水人口	55,485人	55,429人	56人増
有収水量※	5,927千m ³	5,981千m ³	54千m ³ 減

※有収水量…水道料金徴収の対象となった水量

財政状況

水道事業会計には、「収益的収支」と「資本的収支」という二つの枠組みがあります。

「収益的収支」は、1年間の営業活動に関する収入と支出です。みなさんからの水道料金などの収入と、水道施設の維持管理などのために要した支出となっています。

「資本的収支」は、水道施設などを造るための収入と支出です。新たに水道を引く場合など、みなさんに納めていただいた加入金などの収入と、水道施設の建設・改良に要した支出となっています。

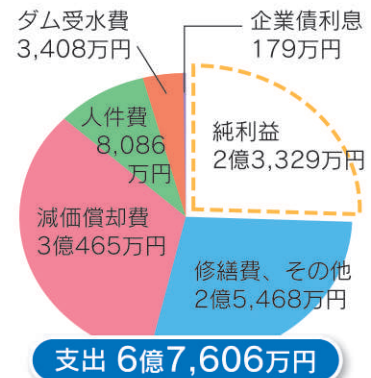
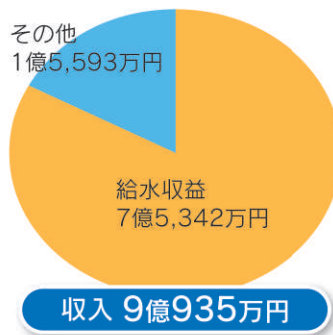
収益的収支（※消費税抜き）

1年間の営業活動に関する収入と支出

給水収益（水道料金収入）は、令和元年6月検針分から水道料金を値上げさせていただいたことにより、平成30年度に比べて、約1億1,754万円増加しました。ただし、今後は給水人口の減少や節水器具の普及等により、減少していくことが見込まれます。

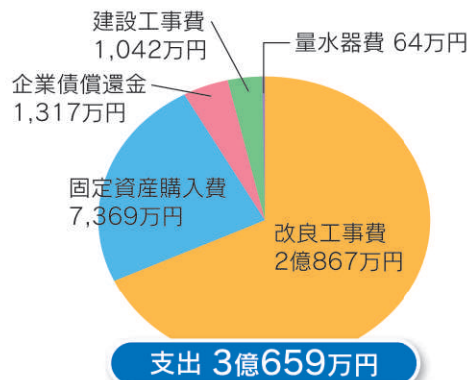
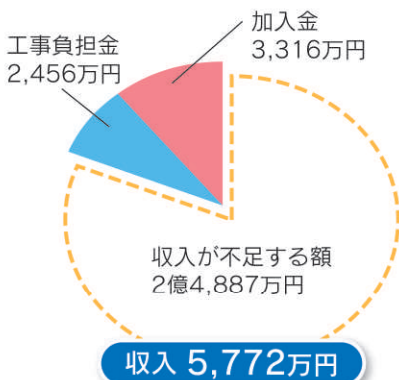
支出については、水道施設の維持管理費用や人件費が主になり、収入から支出を差し引いた約2億3,329万円が純利益となりました。

この利益は、「資本的収支」の水道施設の建設・改良のために充当したり、今後の水道施設更新等のために積み立てたりしています。



資本的収支（※消費税込み）

水道施設などを造るための収入と支出



支出としては、配水管や水道施設の整備費用（改良工事費・固定資産購入費・建設工事費）が主であり、収入から支出を差し引いた不足額（2億4,887万円）は、建設改良積立金や現金支出を伴わない減価償却費などを補てん財源として充てています。